建交労鉄道

岩手地本

9月16日 2021年 NO 145号 発行責任者 須藤清成



2マ89〜送送し益億 7前単一前 3前が量た0円億年体表年 たり円 12 中 14 公 . R 2 円 比 P 11 比 B 11 2 91 貨 ナ 5 万年 1 は 7 9 ス 万 t 比 J円なのマ営 ナ 9 62 t マ 8 コ R と り ナッ元 ス万万 (、イ o 、 が表当 2 t t 前 車 ス 万 か 表 リ 「 C) 年 扱 ス 万 t 輸 輸 ま 利 ,ナ収 5 ス益貨表 いナ 2 ま禍 5 () 年扱ス万ナ0 すの 5 前計比が 1 t輸 01は物10送 輸 ま 利 2 0

定し「クリーン社 でし、「連結経常可 を支え、完全民党 を支え、完全民党 を支え、完全民党 を支え、完全民党 を支え、完全民党 を支え、完全民党 を支え、完全民党 を支え、完全民党 を支え、完全民党 とい中 「標の益は計ま方化 ま円32改団すの年0正債 一財 0 2 1 コと達 2 15 わ響雨ロし成 4 「連れがなど禍いを 億 結 理 ま利円 法算を で 益以常 『目上利で営いく営業 の業け国

JR 貨物会社の決算 表 10)

単位:・億円 2021年3月31日 前年年上七 前年中上比 1,502 -1071,873 -1151, 491 -331,848 -40 200 3年 平月 45 10 -74-75 25 新茶 20c 不订金盒 -75 71 14 当6 34月平月益 -41

JR貨物会社の輸送量と鉄道収益の推移

コ

口

災

 \mathcal{O}

ち 害

フ 月

IJ

ダ

1

7 ル

23 0

日

 $\widehat{\pm}$

10

時

22

時

2

O

1

5 t

9

3

0

	2013 年度	2014 4E BE	2018 年	2016年	2017年	2018 4K JBC	160 2019 中	版 2020 年
輸送量 万"。	5, 100	3,031	3,077	3, 093	3, 164	2,922	2,954	2,699
飲油事業質業以益 〃 営業利益	1,331 -43	1,338 -81	-33	1, 369	1,411	1,388 -62	1,429 -26	1, 336
関連事業常業収益	192	179	192	177	171	203	180	165
ハ 300 300 平り3左	108	103	118	103	102	106	110	101
全事業当期利益	18	80	50	120	72	-9	39	0

193 億(-4 億)

日ア

時べ

総2020年原業を発生の

IJ

全0ダ時

午

前

日

場

ル

建 交労 鉄

道 東 月 日 9 日 第 本

期

大

ツ ク シ 24 本 $\widehat{\pm}$ テ 回部 1 定

無 < 乗 2 W 料 1 で り 5 年 ŧ 越 し をを 全 え 国 電 守 る い話 る つ相 せ談

い会

な

U 2 んの ル 肺 弁 O 護 5 寸 連

主

催

玉

3 時 絡 3 会 5 議 8

1 4 ヤ午日 O 被 後(2 害 1 全 年 玉 10 月 6 電話 日 相 談 会

オ シ ラ Ο Ο イ 6 $\overset{M}{\smile}$ 階 大 会 参 議 加 室

地

方

代

議

員

は

交 月 鉄 労 18 道 中 日本 央 部 本部 土第 24 口 定 17 期大 時

場

日 建

交時労

9 国

全

h で 令 年和83 3 年 3月期

本

¬ 2 □ 0

 \square 2

+ 0

禍年

で度

34 期 J

お知ら

世

人間が健康に生きて行く為に155

建交労鉄道岩手地本新聞

夏の疲れにネバネバ食品

厳しい暑さは、自律神経の乱れや消化機能が低 下しがちです。

毎日の食卓に多くの効果をもつネバネバ食品を 取り入れて、残暑を乗り切りましょう。

粘性糖質たんぱく質

第145号(P4)

胃腸の粘膜を保護・修復、消化促進、疲労回復、 有害物質の排泄など

ネバネバ食品の成分と働き モロヘイヤ・オクラ

ペクチン 胃の働きを活性化。便秘や下痢の改善。

山芋·長芋·里芋·海藻類

フコイダン 胃粘膜修復、免疫細胞の活性化。

ナメコ・納豆

ポリグルタミン酸 整腸作用、肥満抑制。

ネバネバパワーを効率よくとるヒント

モロヘイヤ・ツルムラサキ 加熱するとうま味と粘り が出る。ゆでて水にとり、おひたしやあえものに。

オクラ 生かサッとゆでて小口切にする。

山芋·長芋 すりおろすか拍子切りにして生で食 べるのがおすすめ。

下ごしらえのさい、ぬめりを落とし過 里いも ぎないように。

ナメコ サッと水洗いして加熱し、汁ごと食べ る。

細かく刻むと粘りが出る。とろろ昆布 コンズ みそ汁、松前漬けなど手軽でおすすめ。

モズク 酢との併用で消化機能がさらにアップ。

刻んでかき混ぜ、粘りを出す。 メカス

納豆 しょうゆを加える前に、よくかき混ぜて 粘りを出す。

プラスαで効果アップ

+ビタミンB·トたんぱく質

とくに豚肉、納豆や豆腐といった大豆製品など たんぱく質豊富な食品をとって夏バテ防止

+薬味

食慾を刺激する青ジソやミョウガ、消化を助け るおろし大根、ショウガ、梅干しなどをプラス。

+暖かいみそ汁

みそ汁は汗で失ったミネラル、疲労回復効果の あるアミノ酸も多く含む。具にはシジミなどがお すすめ。

原発ゼロNO 125

復興妨害五輪

<

せし

<

ると

だはこ

る

に

「 が 定 か 当

五.

輪 V

興五

つが

経費

: か 初、1

世 年

や金決

を な

いえる がつった。すり、

京

復 目

興を大会

終けを

がると、

北

た爆

五.

ない

いう

福の

な考の端

経済

かピ果

界の

一招お

2

3

事倍言の を り美名をでった事が「復興五日日政権と猪瀬日 き名だり だま から始れる って 界 収束 4 向 してい ま疑 せけ はア 輪 東 0 た て 東京都知 た。安 安 まうな まうな る。 あ

2021年9月16日

てててな五いいいの輪 O \$. 2 た た進

端を発している。 日本が復れ 、姿を世界に いる。 日本が復れ でという。 見興なは東 っず京 \mathcal{O}

ち 間 勝 に える半 で 開 開催 戦する事が政府の役割。 勝った証。 年延 謳 >ものになってい 催反対 を押 を経 迫 る 。 た 塚発 で現 天 明 ま が 明 ま に し て い る。 コ 口 切る につる。 Ŧī.

な 鉄 く 製 汚染い 復興 五. シピ 輪 コ 典 って がン 土: たたは なの 全く 算 は支ク 大払のい覆るグれ性 幅い3に、兆 った。とは、の思れる悪乗れる。 染で 。見々はい物取れに辞追 減震円 ら災はオえに

でも、野球やソフ がールの選手団は新 がに温島駅に来て、対 がはきれいでした』と なていました。復興 いない被災地の本 いない被災地の本 いないがのた。 の団で島 でも、温に来てこれのことでも、 0 らに かった界のである。 に福選

対外的に対外的に 興五 だいやない 大工輪ない 大工輪ない であるか 催あにすれ 持って、 政府 ち が るば興 とわ っどな興 招 したメットわからなっ 初か五 めかたかかた めった。シャー ない」の東ルカルの東ルカルの東ルカルの東ルカルの 興興ら う 妨五存復いし の北りでの本

復興五輪

めま原膨 のな発れ 架で、事故 の全のも

の誘処 一なり か始 てめ からのたが

開向催け 年 \mathcal{O}

> 東 ⊸の目 菅 本 除触五相震 輪の災 式の

フやりなつで悼

発 島 手

にま 開 は で当 記

てか

存

海道山

たび

N

ムラウ

0

は

必要が

無く

な

り

トムラウシに行っ藤谷真紀子 い

プほ道まン

け

早

< 北

ツ は

K

ラン

どのしプ

夜たの明。使

海

た た の い

「神様たちの遊ぶ庭」

宮下奈都さんの

う本を読

んだ時

7

ドカ

` b

り が 辺 が た

いの点で、

、まさに 山植物が と

し思景

たい、色

0

て 4

プま

なりま

雄

大な自然

日出欣

なりました。 満足感でい

ŧ 沼

見て

う 地

Щ

頂に立て

あ

ŋ て

11

丰

プ

 \mathcal{O}

また頂すで上

。 すに

感 行

張

は

して なかば

きたと実

感

皆さ

かば

葉が無け

ムラウ

陰

で、

て、

た約コ

3

時

間 渓

侯も越え、 り沢までは、 なイ天上か

からでした。

縮コ

入り日

A

を過ご

ぎて尾

根

ま

前

た。

次

Þ

着

十らこきャンプ

た

南沼

上 地

ぎ

十ら

っ思

た

平 雪

一度もなって行き、

*度*1, の入っ

てつ口

やた

公よ

公 私園の

た

ドっ買

9月3日 音総理が ※ おった と

総

裁

選

て党げいな の出し、たっの誰

まて国

の窮

党 う

Ł

自

0

遺伝子

·操作

総しい民

視裁たるが

財な自民地に界の民投に

総理を辞任

スが

ŋ

の政治の政治

言

. 多く見ら

れけ

側

自 入

2021年総選挙

対ない。 対ない。

国民

5

ŧ

角4

直に言 る時が 党共闘の

2

来て

乱な策

力 が

のかか

P

感ら

染

ご意見同

感

心に迫る

力 \mathcal{O}

では

面

で

かと思え感を得

結 党

カン

支持 分が

ね

さ民

心 b

自 5

なにより、いのちが最優先される

社会への転換を

野党4党の共通政策と政府の施策の違い

野党4党の共通政策

医療費削減政策の転換 医療・公衆衛生体制の迅 速な整備

経済的な打撃を受けた人 や企業を救う万全の財政

消費税減税や社会保険 料の見直し。低所得者層 や中間層への再分配の 安全保障法制や特定秘

密保護法などの違憲部 分を廃止 沖縄県名護市辺野古の

米軍新基地建設を中止

再生可能エネルギーの 拡充で原発のない脱炭 素社会を追求

求な費

政府の対応

病床削減や病院の再編・

統合につながると指摘さ

企業への持続化給付金

や家賃支援給付金を打

消費税減税を否定、一部

高齢者の医療費の窓口

普天間飛行場の危

険性除去の「唯一の解決

負担割合增。定額給付金

の再給付は後ろ向き

れる改正医療法を成立

9 の社 Ō

支援する 野民立角 れ民日

選産

脱炭素社会に向け、原発 は依存度を低減しつつ最 て

策」と主張

は 8

闘

で

自

打の

法

工

ン

ダ

和

能

ち切り

税 党と共 「市民連合」 い主

な事

加台各

げ、 対 や 消 米 をの乗

行掲反じ

気候危機1由主義か 条を生か 立憲主 を争 性 き 平のら ま 義 等 た ようにする。 破壊でし 対等 隊 し、義 すで を 米 Z

 \mathcal{O}

のは「ひって野党側 まささ ます る野発党 だとして「衆院選で力の喪失は明らか」スの感染拡大のなかのなかが 野党協力 を拒否 速させ にめに不可欠だとは市民の命をい政治を実現す 共通政策 など、 も見える 策提言 た 足並 た参加しが共通政 る形 考えだが だし を守 4 で党 るこ

かル

計 辺

は古

中へ

止の

求内名

1程のお陰 た。本当に、 ったメンバ あこがれ をこがれ で がい لح ま うござ 色 い々 ま

程画

るののし

つた参加でなる。緊握事故な \mathcal{O} 央に位置す がである。 緊張感を と呼ば Щ

し思い出に残る る山 О u 大変 t ħ 喫 雄 海 神 さに 大た t 美 ŧ \mathcal{O} Þ \mathcal{O} 世中央部に広い 日われている 思わず息を さと、その 大きさは、 だ。 の遊ぶ庭) は こかけて さ おの 上に か 団 人参て λ 、スのそ公が 一加いとに登そう

9 À のたわご Ш 忠雄

建交労鉄道岩手地本新聞

ゴ D を さ 生 事 批 画 活 う 投 保 稿 で ŧ レサい た と る 護 に団に 受いスイ わで あ な いか る 0 日 仏い想の 「岩手日報」 す発 浮 \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} 言 な に僧 言 は 紙 \mathcal{O} 葉 \mathcal{O} つ優 り紙 他 や木

必

生.

 \mathcal{O}

らに 木は 紙は を作 はな な る に だ な

地空人木 た や気 ちこ さ あ る れ 0 言 り う る 存 のと

 \mathcal{O} 中 き 会 る \mathcal{O}

0 要 に

必

る のが を頂 て行とた 一の事 と説 同 は たちの遊ぶ庭に下山しました。 なんと 11 は じ バ

いカ と思 人間 があ げ

満足したt かならり ら始ま 日

ナ防 \mathcal{O} マスコミ宣伝するが \mathcal{O} はワクチン 独 n 言 26 打

口 て

安全 世界 10 年か \hat{O} ワクチン け た 研 究

た人もほ ナ有症者数は多い は極めて偏在 慎重を要す 多くは とんど治 な る が $\bar{\mathcal{O}}$ 宣伝

クラスター

口

シズ ムでは な 駿

・ワク

カン

立 ひ治解 く釈